

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第15週の発生動向

全数報告の感染症 (15週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：E型肝炎1例。5類感染症：水痘(入院例)1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	結核性リンパ節炎	右頸部皮下腫瘍
			70歳代	女	肺結核	咳
		延岡	70歳代	男	疑似症患者	貧血
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1、VT2産生)
4類	E型肝炎	日向	70歳代	男	-	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
5類	水痘(入院例)	宮崎市	10歳代	女	臨床診断例	発熱、発疹、熱性痙攣 ワクチン接種歴なし

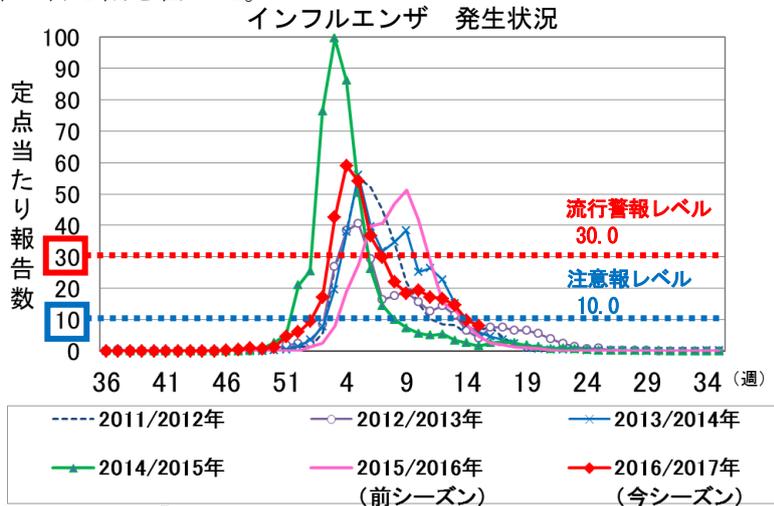
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,139人(定点当たり29.3)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

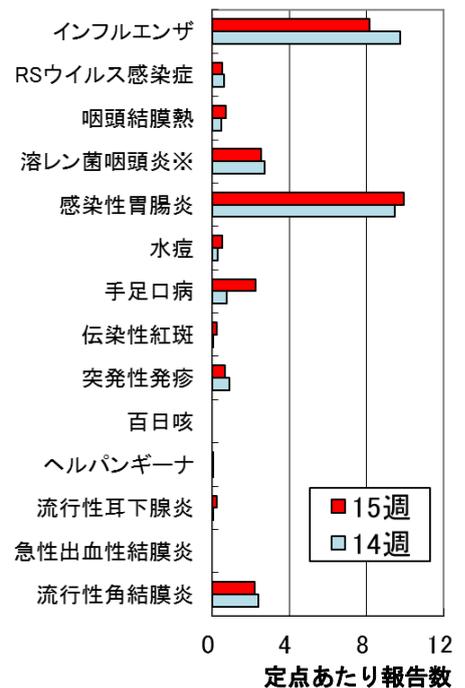
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は480人(8.1)で、前週比83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.3)の約1.6倍であった。小林(17.8)、日南(17.0)、中央(11.5)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約4割を占めた。



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

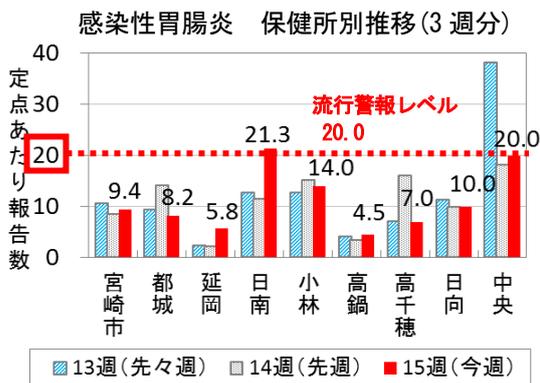
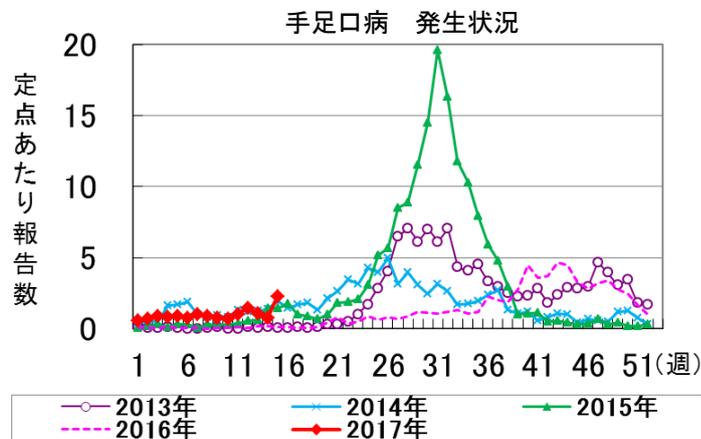
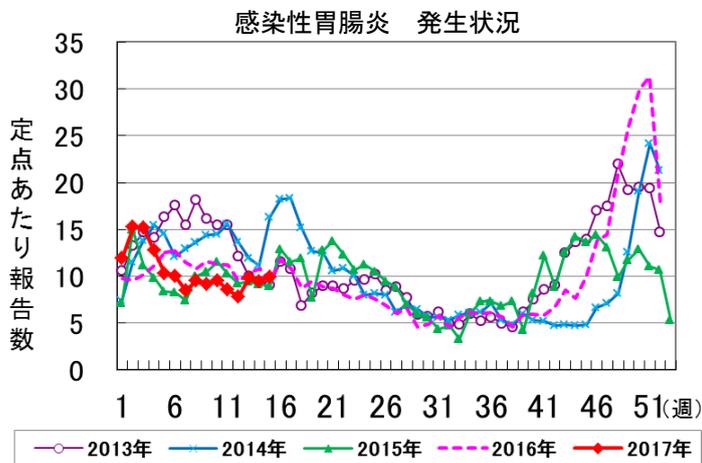
【感染性胃腸炎】

報告数は357人(9.9)で、前週比105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(12.2)の約0.8倍であった。日南(21.3)、中央(20.0)、小林(14.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~4歳が全体の約6割を占めた。

【手足口病】

報告数は82人(2.3)で、前週比304%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.68)の約3.4倍であった。都城(6.7)、小林(3.0)、宮崎市(2.3)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス):

延岡(5例)、日向(3例)保健所から報告があった。0~4歳が7例、5~9歳が1例で病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(6.7)
延岡	なし
日南	インフルエンザ(17.0)、感染性胃腸炎(21.3)
小林	インフルエンザ(17.8)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	インフルエンザ(11.5)、感染性胃腸炎(20.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10.0)

全国 2017 年第 14 週の発生動向

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	267 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	17 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	4 例	オウム病	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	7 例	レジオネラ症	28 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14 例
	急性脳炎	7 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	4 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	65 例	水痘(入院例)	1 例
	梅毒	49 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	4 例
	風しん	2 例	麻しん	13 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例

□ 全数報告の感染症(全国第14週)

麻しんの報告数は13例で、第1週から第14週までの累積報告数は114例となった。山形県(9例)、茨城県、神奈川県、兵庫県、奈良県(各1例)から報告があり、第1週から第14週までの累積報告数は、山形県(35例)、三重県(20例)、東京都(13例)が多い。年齢別では20歳代が7例、30歳代、40歳代が2例ずつ、10歳代、60歳代が1例ずつであった。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比93%とやや減少した。前週と比較して増加した主な疾患は感染性胃腸炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は25,048人(5.1)で前週比75%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.5)の約0.9倍であった。沖縄県(11.0)、宮崎県(9.8)、福井県、長崎県、石川県(各9.6)からの報告が多く、年齢別では5~9歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2017年3月>

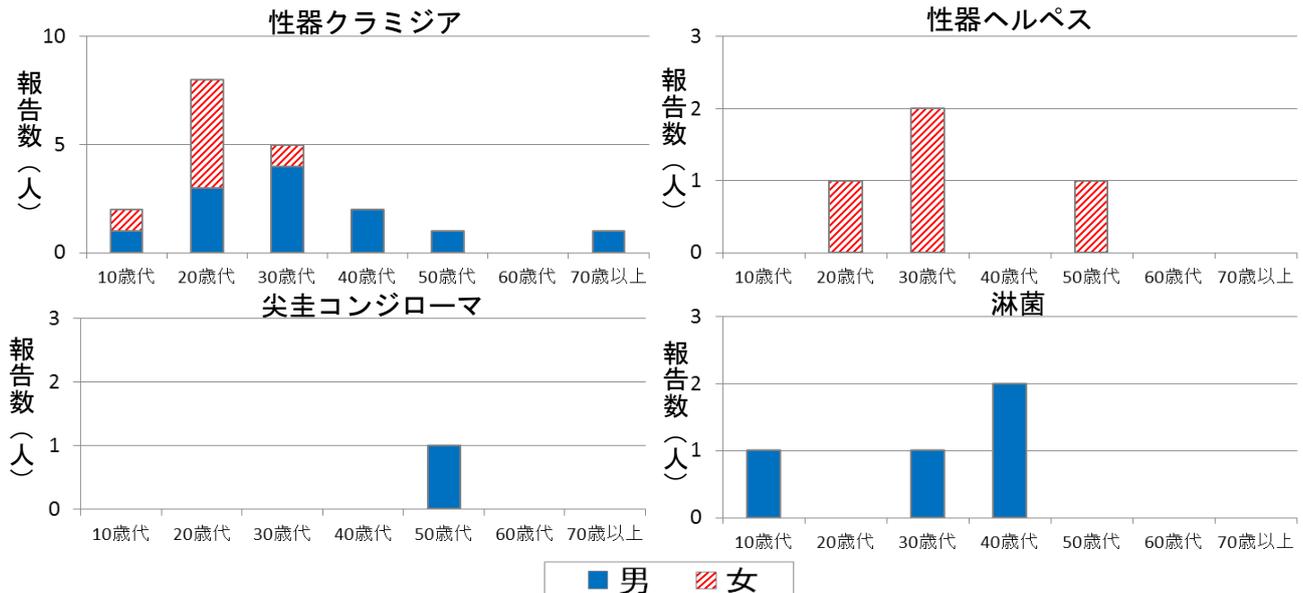
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は28人(2.2)で、前月比70%と減少した。また、昨年3月(2.5)の85%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月の約1.0倍、昨年3月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約4割を占めた。(男性12人・女性7人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の1.0倍、昨年3月の0.8倍であった。(女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の約0.1倍、昨年3月の0.5倍であった。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.4倍、昨年3月の1.0倍であった。(男性4人)



【全国】 定点医療機関総数：984

定点医療機関からの報告総数は3,822人(3.9)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,938人(2.0)で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症784人(0.80)で前月比108%、尖圭コンジローマ471人(0.48)で前月比123%、淋菌感染症629人(0.64)で前月比100%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人(3.7)で前月比144%と増加した。また昨年3月(3.6)の約1.0倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数26人(3.7)で、前月の約1.5倍、昨年3月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：473

定点医療機関からの報告総数は1,470人(3.1)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,306人(2.8)で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症149人(0.32)で前月比94%、薬剤耐性緑膿菌感染症15人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第15週(4月10日～4月16日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	576	480	122	62	36	85	89	35	9	19	23
	定点あたり	9.76	8.14	7.63	6.20	5.14	17.00	17.80	5.83	4.50	3.17	11.50
RSウイルス 感染症	報告数	23	19	8	2	1	6				2	
	定点あたり	0.64	0.53	0.80	0.33	0.25	2.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	26	3	11	4	2		1		4	1
	定点あたり	0.50	0.72	0.30	1.83	1.00	0.67	0.00	0.25	0.00	1.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	99	91	42	6	11	6	5	14	2	3	2
	定点あたり	2.75	2.53	4.20	1.00	2.75	2.00	1.67	3.50	2.00	0.75	2.00
感染性胃腸炎	報告数	341	357	94	49	23	64	42	18	7	40	20
	定点あたり	9.47	9.92	9.40	8.17	5.75	21.33	14.00	4.50	7.00	10.00	20.00
水痘	報告数	10	20	1	1	5		3	4		6	
	定点あたり	0.28	0.56	0.10	0.17	1.25	0.00	1.00	1.00	0.00	1.50	0.00
手足口病	報告数	27	82	23	40	1	4	9	5			
	定点あたり	0.75	2.28	2.30	6.67	0.25	1.33	3.00	1.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	9	2		3	1	1			2	
	定点あたり	0.08	0.25	0.20	0.00	0.75	0.33	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	32	24	10	2	4		2	1	1	4	
	定点あたり	0.89	0.67	1.00	0.33	1.00	0.00	0.67	0.25	1.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	3	1	2							
	定点あたり	0.06	0.08	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	9	1	1	5			1		1	
	定点あたり	0.06	0.25	0.10	0.17	1.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	11	9	1	1						
	定点あたり	2.40	2.20	4.50	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	15	8			5					3	
	定点あたり	2.14	1.14	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00		3.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～15週)

2類感染症	結核	66例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例(1)	つつが虫病	6例	レジオネラ症	2例
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
	水痘(入院例)	1例(1)	梅毒	5例	破傷風	1例

()内は今週届出分、再掲